

〔現代日本の混亂〕…項目①から項目②(「祓ひ清めて」喪失化)への變移。以下()内は吉野注。

項目①(評論『日本および日本人』の指摘)…「近代戦(F)に馴れない(not so called=Eの至小化)人間(即ち「祓ひ清めて和に達する」と言ふ異質な so called 手段を持つ人間)が近代的戦争(F)に手を出した結果が、殘虐不法な戦争を招來し(似而非近代性=近代化適應異常=D1の至小化)、國家主義(F)に馴れない(not so called=Eの至小化)國家が國家主義をまなんで超國家主義(似而非近代性=近代化適應異常)になった。同様に、權利義務の契約(Eの至大化)にもとづく個人主義(F)に馴れない(not so called=Eの至小化)人間が、その制度(F)や法律(F)を移入すれば、それはたんなる利己主義を助長する(Eの至小化=D1の至小化)にしか役だたぬのです」(P192上)。

項目②(今日的情況)…文化衰退(D1の至小化)が招く型(祓ひ清めて=美意識)の喪失化(Eの至小化)。即ち、「祓ひ清めて和に達する」―「祓ひ清めて」=既成概念的「和」(美意識摩耗で、形骸化した和)。

c(神・歴史=時間的全體):C'(場)
①C'(場):西歐近代
②C: 歴史=時間的全體

D1(關係:實在物)…

- ①近代化適應異常(D1の至小化)(『日本および日本人』)。
- ②半世紀後(今日)の更なる「文化衰退」(D1の至小化)。

F(言葉:潜在物)…

①F(近代化諸概念):近代戦F・國家主義F・個人主義F・西洋流の神F(『日本および日本人』P192)。

②非文化(D1の至小化)に相當するF(非文化的諸概念)…

「F: 既成概念的・和・な・あ・な・あ・自己欺瞞・不正・不法・非倫理・不道義・情治(非法治)等」

E型(潜在物Fの裏に實在物D1を際立たせる型)。Fの「so called」でD1を見せる。しかし以下①②はそれが出来ない。…

①近代戦等(F近代化諸概念)に、「祓ひ清めて和に達する」と言ふ日本特有の型(E)で適應した爲、結果としてF①を「not so called=Eの至小化」してしまつた。(『日本および日本人』P192文概略)。

②型の摩耗・喪失化(Eの至小化)。即ち文化衰退(D1の至小化)が招く、半世紀後の今日的情況…極論すれば、非文化(D1の至小化)は、型・様式を喪失化(つまり和を形骸化:Eの至小化)するが爲に、「和」が最優先され、結果として、その非文化的諸概念(F: 既成概念的・和・な・あ・な・あ・自己欺瞞・不正・不法・非倫理・不道義・情治=非法治等)への、so called(距離的把握:Eの至大化)が働かない、と言ふ事になる。故に、「形骸化した和」は、不法を招き、かつ非倫理・不道義なのである。